

「健診結果に関する 重要なお知らせ」について

健康診断受診者のうち「血圧」「脂質」「血糖」の検査数値で、より重症度の高い方を対象として日本人間ドック学会で公開している「要精密検査・治療」の判定基準値をひとつでも超え、生活習慣病対象疾病の通院歴がない30歳以上の被保険者および被扶養者の方を対象に、当組合より医療機関への受診を促す受診勧奨通知を送付いたします。お手元に通知が届いた方は、生活習慣病が強く疑われる状態にあります。生活習慣病の多くは、発病してもかなり進行するまで自覚症状がほとんど現れないという共通点があります。そのため、生活習慣病のリスクがあっても放置してしまう方が少なくありません。生活習慣病へ進行する前に、医療機関で適切な治療を受けましょう。




あなたの健診結果には、「医師の治療の必要がある」項目がありました。

1. 血圧 125 mmHg (基準値: 120以上)

2. 血糖 6.5 mmol/L (基準値: 5.5以上)

3. 脂質 126 mg/dL (基準値: 100以上)

4. 尿酸 7.7 mg/dL (基準値: 7.0以上)

5. 尿酸 206 mg/dL (基準値: 600以上)

6. 尿酸 42 mg/dL (基準値: 50未満)

7. 尿酸 134 mg/dL (基準値: 100以上)

※あなたの検査結果に基準値以上の項目があります。状態を改善することにより、重症化する可能性がありますので、一日も早く、医療機関(内科)を受診してください。

TOPICS 糖尿病で血管がボロボロに!?

糖尿病とは?

糖尿病は、血糖値が高くなる病気です。血糖値が高くなることで、血管がボロボロになり、心臓や腎臓、目や手足などに障害を及ぼす可能性があります。

糖尿病の予防方法は...

1. 食生活の改善 (糖質の摂取量を減らし、野菜や果物を多く摂る)

2. 運動の習慣化 (毎日30分以上の運動をする)

3. 禁煙 (喫煙は糖尿病のリスクを高めます)

4. 体重の管理 (肥満は糖尿病のリスクを高めます)

5. 定期的な健康診断を受ける

⚠️ 生活習慣病は、知らないうちに悪くなっていく怖い病気です!

この期間は病気が進行していても自覚症状がないことが多く、放置しがちです → 合併症に進行すると仕事や人生設計に大きな影響がでます

